



幡豆中学校



はず と 歩む

～地域を見つめ、新たな幡豆の未来を創造する生徒の育成～

- 1 人間関係を大切にし、自ら学び、深く考え、たくましく生きる生徒を育てる。
- 2 身のまわりの「ひと・もの・こと」に感謝の気持ちを持ち、ボランティア活動などを通して、地域の方やお世話になった方のために実践できる生徒を育てる。
- 3 防災教育の充実を図り、避難訓練、「三ヶ根通信ボランティア」、地域防災訓練などから、災害時や緊急時に地域の戦力になる中学生を育てる。
- 4 「にしがま線夢シーサイドウォーク」の行事を継続することで、広い地域を自らの目で見つめ、校区のよさを実感し、心豊かでしなやかな生徒を育てる。

話し合いを活用した 授業づくり

- ・「わかる」「できる」喜びを感じ、さらに「学びたい」「解決したい」という課題を設定します。
- ・クラスの仲間と話し合う授業展開にすることで、生徒個々の考えの深まりを推進します。



サックス活動思いを形に

- ・小学校、保育園、福祉施設、地域行事などにボランティアとして参加し自己有用感を高めます。
- ・吹奏楽部は、地域の方々にボランティア演奏会で感謝の気持ちを伝えています。

地域の力となる防災教育

- ・登下校時避難訓練、土砂災害避難訓練など、年4回の訓練を行うとともに、全生徒各自の非常持出袋を備蓄し、「自分の身は自分で守る」「地域の力になる」意識を高めます。

にしがま線夢シーサイドウォーク

- ・名鉄西尾蒲郡線沿い周辺や、海岸線の約20kmのコースを仲間と協力して歩き、幡豆の歴史や魅力にふれたり体感したりしながら幡豆の未来について考えます。

